

温室結合「Maiskiy」 タタールスタン共和国



温室結合「Maiskiy」 タタルスタン共和国

温室結合 «Maiskiy» は、1974 年に設立され、タタルスタン共和国の北西部に位置する。現在、«Maiskiy» は 一日150トン まで野菜を毎日生産してロシア連邦における温室野菜の最大のプロデューサーである。

- ロシア連邦における野菜の産地
- 温室は36.9 ヘクタールの面積
- 年間生産量は4万1800トン
- 販売は36億ルーブル以上
- 人の数は1000人
- 投資0.5億ルーブル。
- 「バイオ手段」 — 11の紀元前"-1,000,000の捕食者個人
- エネルギーセンターは47 Mwの電力
- ボイラー126 mw 熱
- 福祉施設は、40平方メートルの住宅、4つの寮、1つの幼稚園、スポーツ施設（屋内と屋外）44平方メートルの2つのマンションは2018年末までに導入する予定。

温室結合「Maiskiy」 タタルスタン共和国

「Maiskiy」は、2010年から独自のグリッドの開発、急速に、ガラスの下で野菜の栽培の現代国内技術を紹介している。「Maiskiy」にイノベーションを導入した結果は、2000年から野菜の生産性を2倍以上に132 kg/平方メートル増加している。

外部の最大の収穫は

キュウリ 203 kg/平方メートル

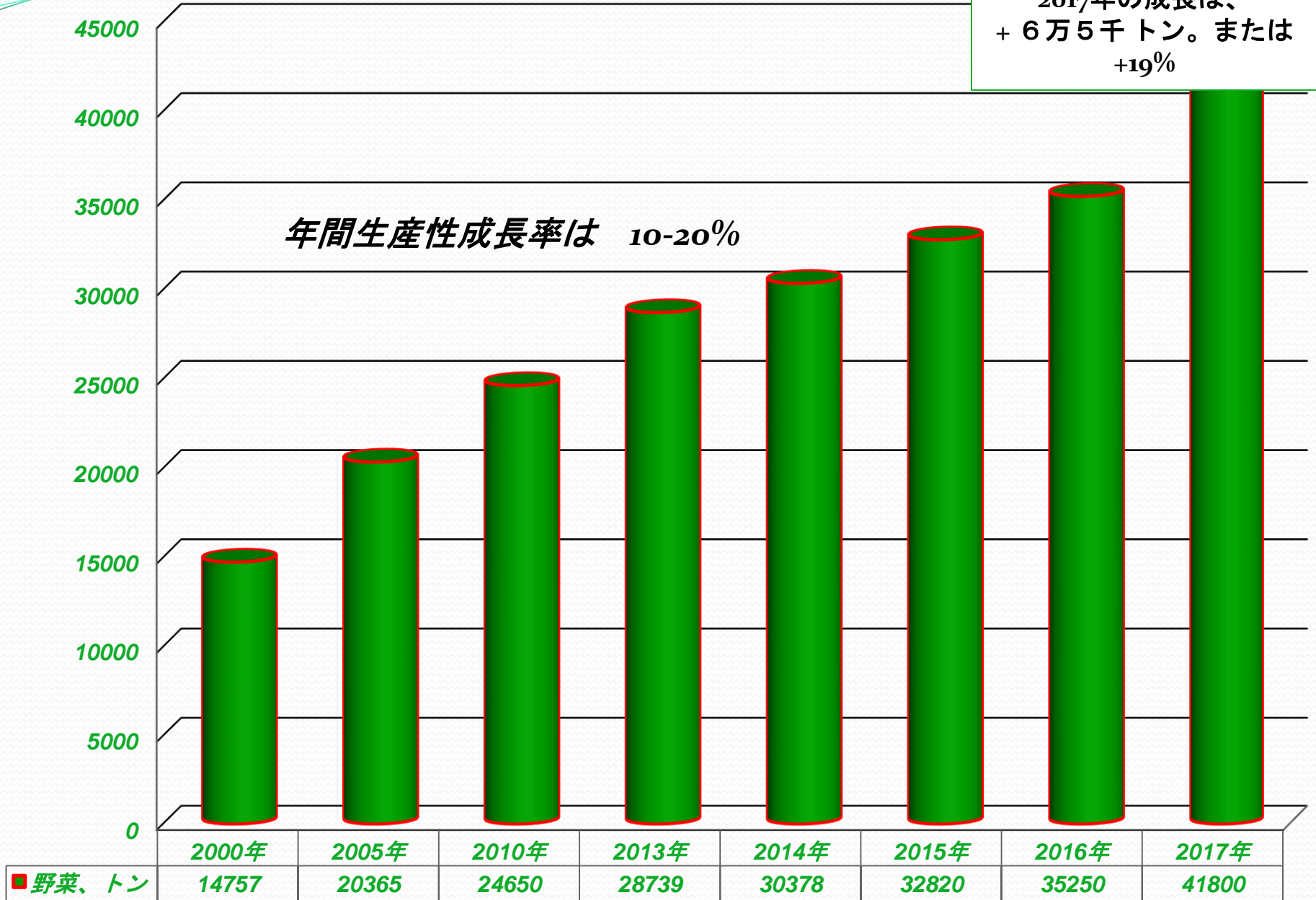
トマト 113 kg/平方



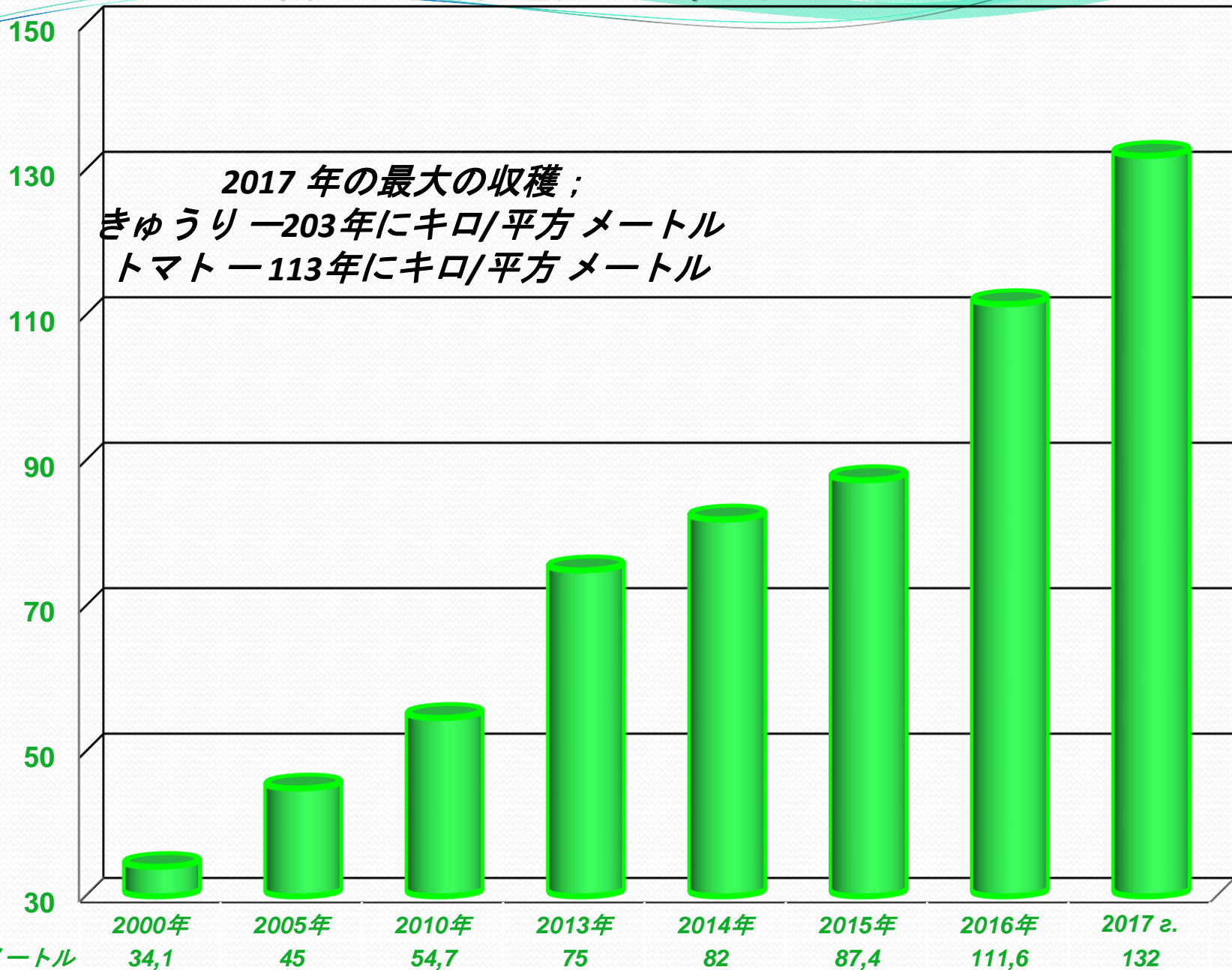
野菜の生産、トン

2017年の成長は、
+ 6万5千トン。または
+19%

年間生産性成長率は 10-20%



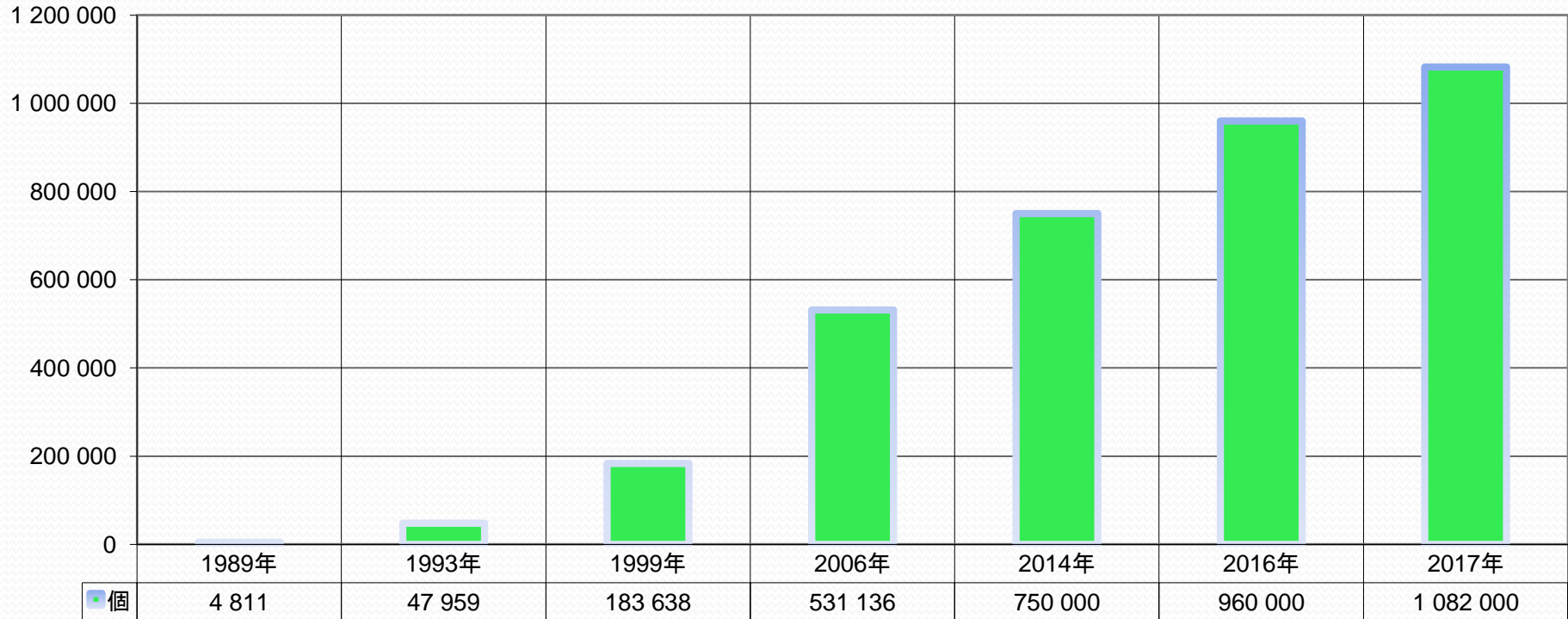
野菜の平均年間生産性 キロ / 平方メートル



■ キロ/平方メートル

環境に優しい製品

バイオ手段とは、紀元前に
殺虫剤の使用から完全に撤退することができるようにする製品の生産にキーファクター。




温室植物「Maiskiy」のバイオ手段は、すべての国際の高度な基準を満たして、10億個以上の年間生産量を持つ11の昆虫食が含まれている。バイオ手段の高さで、オランダ、フィンランドの温室野菜生産の他の先進国の多くの温室ではそのアプリケーションのプロセスが拒否された。

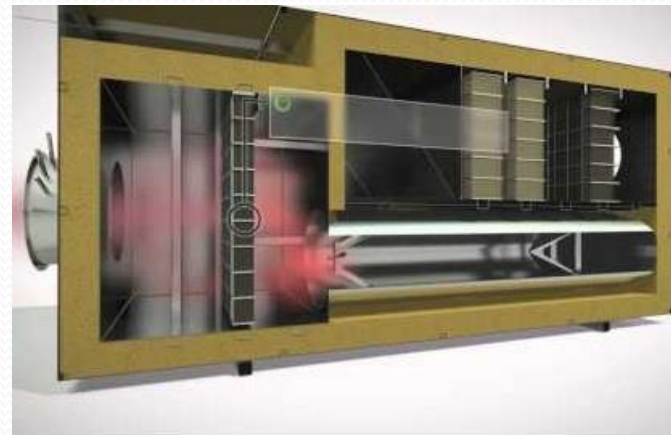
CodiNoxの設定

2016年12月には多機能触媒反応インストールと統合利用による排ガス(煙)の投与供給CO₂の温室効果複雑なインストールのための発売クリーニングに使用されるCodiNoxが設定された。

CodiNox ガス処理システムは、排出量を削減する。

1. NO_x の排出量を20 倍窒素酸化物削減-9 000000 から450 000 mg/m³/h。
2. 完全に除去された二酸化炭素 Co₂
3. 一酸化炭素の排出量が完全にかからを除外-7 650 000 から  0 mg/m³/h

温室への



洗浄・消毒

灌漑用には独自の掘り抜き井戸から水を使用する。年間の水消費量は 55 万M3 になる。

排水は90 m³のタンク容積に収集し、治療の2つの段階を渡する。

1. 熱処理: :生産力 1 時間あたり 3-5 m³。温度 115 C
2. 紫外線ランプの処理。

この技術を適用することによって 環境に悪い物質の30-35% の下水道 を削減した



エネルギーセンターは、電力システムの基礎である



独自のエネルギーセンター電気容量の
合計—47 Mw

各 エネルギーセンターは、7つの
Jenbacherガス設備で構成されてい
る。

2つのエネルギーセンターの年間の精
緻化:

電気エネルギー 160 百万 kWh。
熱エネルギーは 12 万 Gcal。



合成の試運転以来 ;
電気エネルギー 4 億 1000 万 kWh
熱エネルギーは 35 万。Gcal。

温室植物「Maiskiy」のグリッド



2010年

3つのボイラー室は、合計 126
Mw 熱出力



2014年

最初のエネルギーセンターの電力は23.5 Mw.



2015年

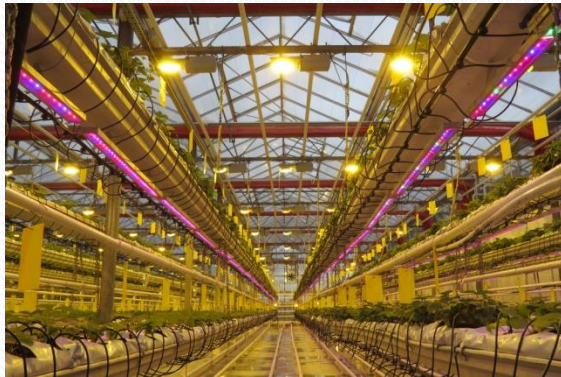
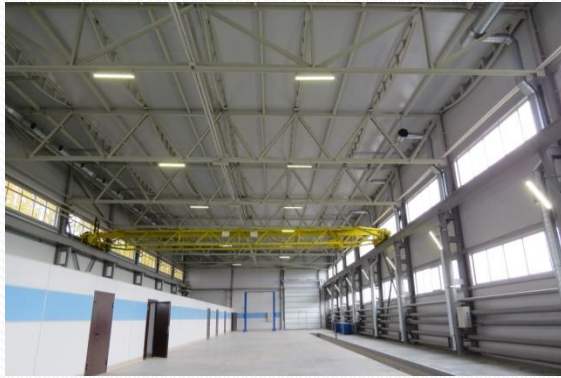
第二の自分のエネルギーセンターの電力は、
23.5 Mw



2016-2017年

炭素源として温室で出願の煙道ガスステーション

温室効果、スポーツ施設、温室結合「Maiskiy」の街路照明のLed照明



温室結合「Maiskiy」は、積極的に探索・ヘッドランプZHSP-64-600/380vとミラーランプD NaZ600/400 Ag、またはモダンな照明システムの生産など、温室と街灯のサポートユニットの両方を積極的に研究を組み合わせることで現代の使用を実装する。

植物の残りの処分

残渣の処分は、国際的な環境安全規格によって行う:すなわち

1. 残渣の処分は具体的なパッドの基板 (岩パーライト) と同様に、残基のストレージに対して実行される。
2. 空路では、熱処理のミックスにより行われる
3. 受信したミックスの熱処理後有機肥料スプレッダー-ROUM-20 を使用する
4. 最後の段階は、土壌の再耕作が行われる

この技術を利用して、環境への害 (水曜日) を発生させることがなく年間 3 000 m³ の作物残渣や基板を適用する。

ロックウールをロック「パーライト」の代わりに基質としてミネラルウールを使用した場合、毎年4000m³以上 活用した。



メタンは未来の燃料



温室結合「Maiskiy」は、メタンを実行する技術を翻訳するプログラムの最初の参加者の一つとなった。

購入した機械—43 台。
カマズ—16 台。
ガゼル—19 台。
Nefazバス—2 台。



プログラムの開始以来
メタンの走行距離4 百万 キロ。
2000 万 TKM (総売り上げ高の 63%)

電気自動車

ショップ内の商品の運送のため**電気自動車**を適用する。電気自動車は、高負荷容量とコンパクトなサイズで区別される。大規模な十分なスピード、抜群の機動性、管理の容易さと有害な排気ガスの不在は、効率的かつ環境に優しい交通手段の電気自動車を作る。
電気自動車ではトラクターの翻訳は 1.76 トン/年が大気中の物質を汚染の排出量を削減した

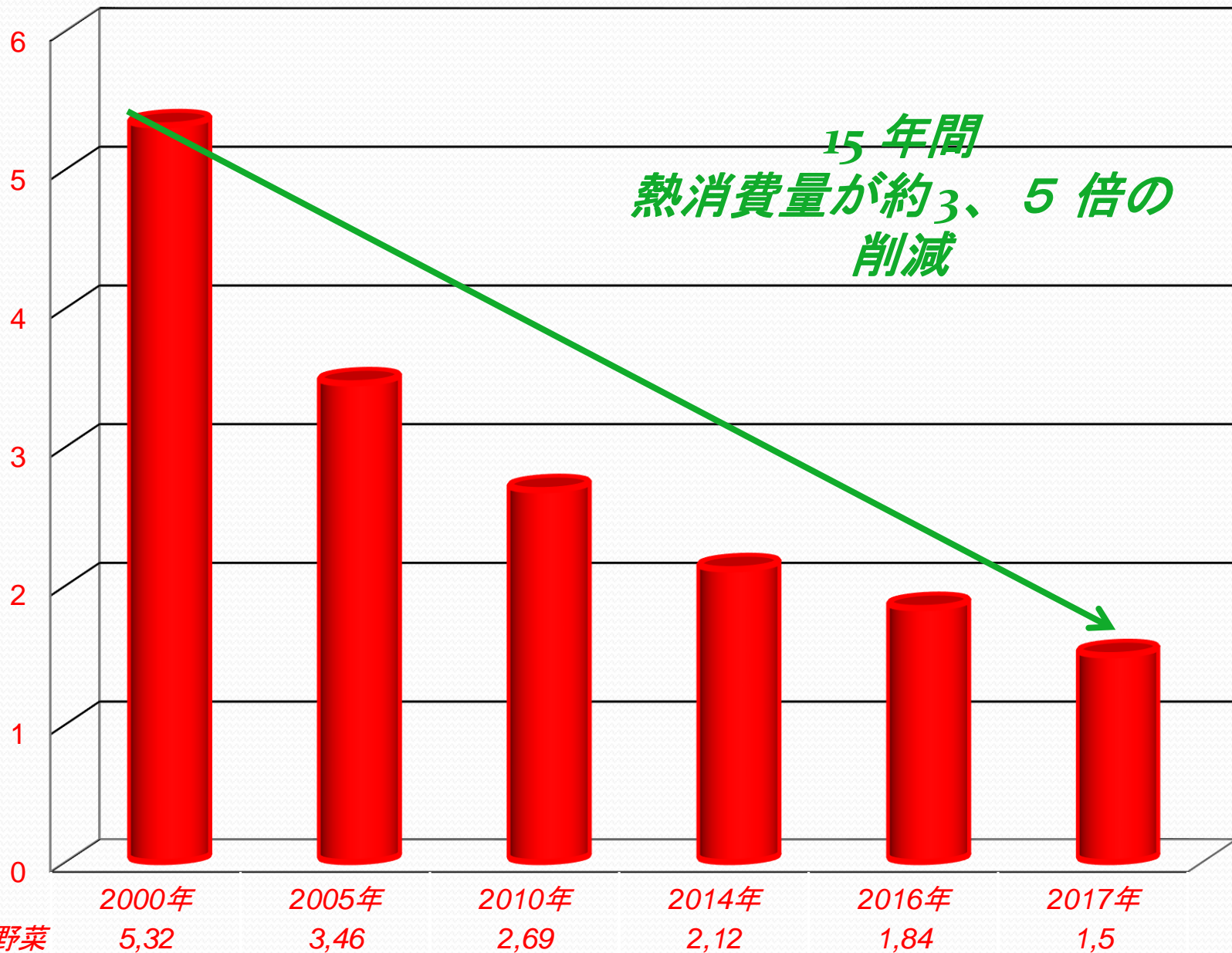


苗木の複合体



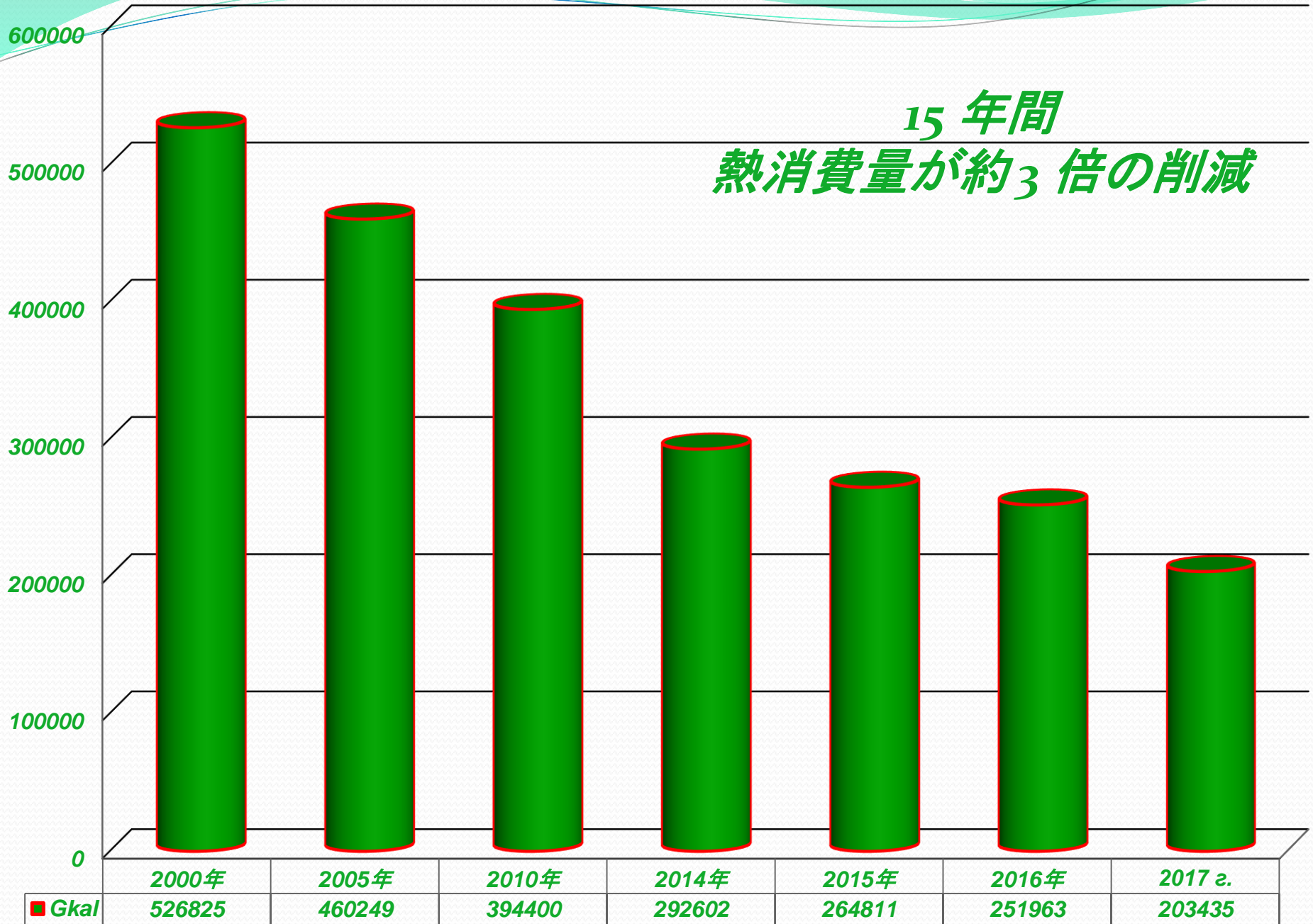
2017年11月には、工場の生産設備をすべての苗を成長を可能にした1.9ヘクタールの苗木領域が開かれた

生産される製品の資源消費量

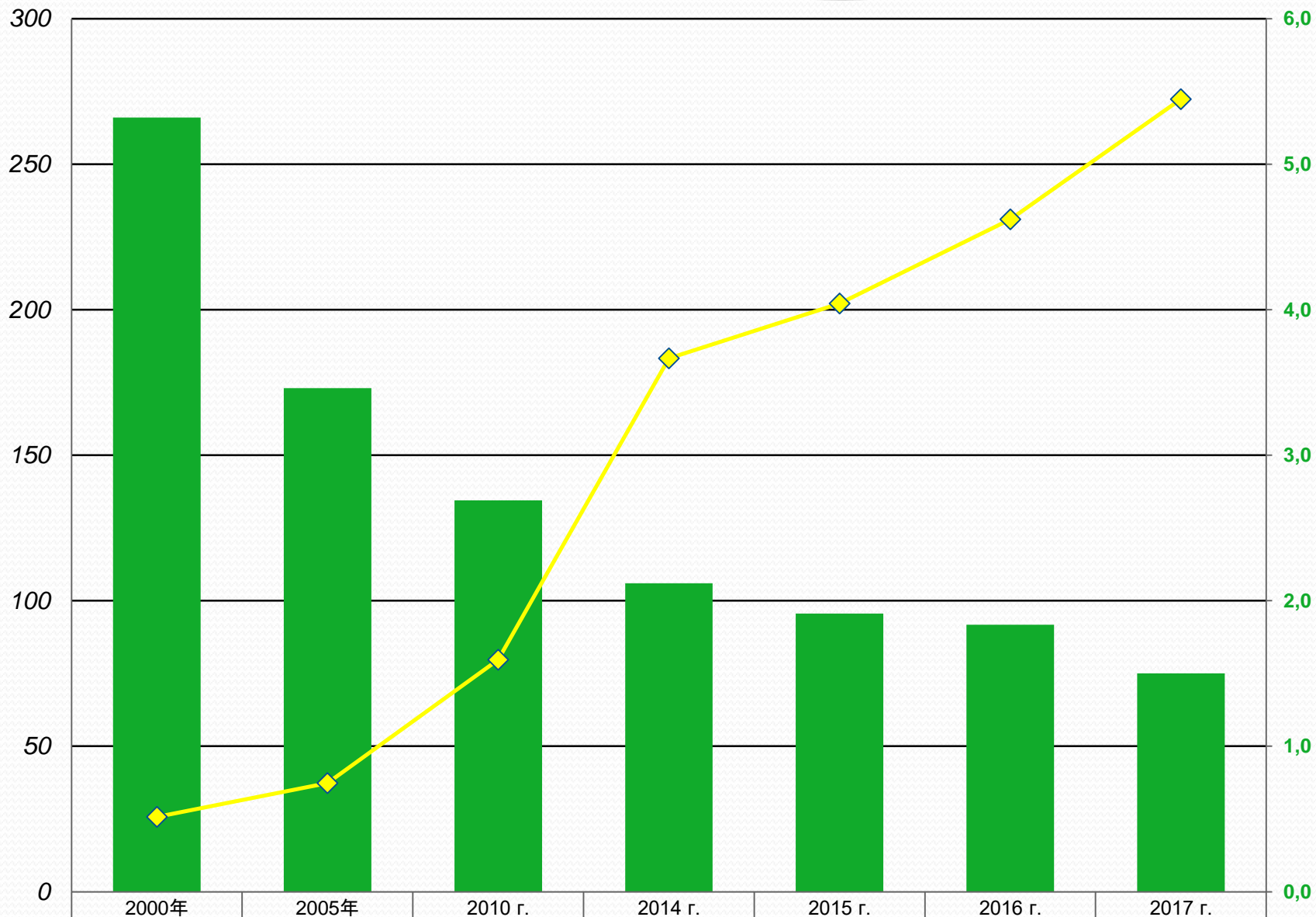


■ ｷﾝｺ/ｷﾝｺ。野菜

熱消費量、Gkal



エネルギー消費, $m k W t / h$ と製品のエネルギー容量 サービス / 製品



■ トン/トン。野菜
◆ mkWt/h

2000年	2005年	2010 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
5,3	3,5	2,7	2,1	1,9	1,8	1,5
26	37	80	183	202	231	272